

◆学生スタッフの参加

仲間づくり



◀ 「めがねをかけている人」「血液型がA型の人」様々な題目が飛び交った。

▶ 調理や食事は、場の雰囲気を和らげる。初対面の人とでも、役割分担がスムーズに。



緊張した面持ちで着席している学生達。初対面のメンバーが仲良くなるにはどうしたらいいと尋ねると、「自己紹介をする」「ゲームをして楽しむ」という声。そこで、自己紹介をかねたフルーツバスケットがスタート。息を切らせながら、着席できなかった人は、特技や趣味をみんなに披露。短時間で和やかな雰囲気が広がっていった。自己紹介もちよとした工夫で有意義なものになる。

その後、メンバー個々の応募動機や「夢学校」の目的を意見交換。高校生が中学生に声をかけ、夢学校への参加動機を聞き出したり、自らの思いを伝えたりする姿が見られた。

昼食を一緒に作って、食べ終わる頃には誰もが発言しやすい雰囲気ができあがっていった。

目標づくり

どんな授業があつたらいいかな？

大人ってどんな人？

周りにいる大人の人を想像して…

いまばり夢学校の先生になってもらいたい大人ってどんな人？

一緒に授業づくりをするパートナーってどんな人…

チームが大切にすること、守ること（しないこと）、最低限のマナーは？

①一人一人が、②スタッフ同士で、③先生と、④子ども達と

仲間づくりを進めながら、「夢学校」の目的や手法、関係者の役割分担について共有。集まったメンバーは、より深く参画できる夢学校に魅力を感じてくれたようだ。同時に子ども達の代弁者として大人に向き合うという自らが置かれた立場を理解。そこで、企画を進めていくにあたって、パートナーとなる大人のイメージを共有。子ども達が日常的に肌で感じている大人の像は新鮮なものがあった。その後は、2つのグループに分かれ、パートナーに求める大人像を構築した。

ここまで来たところで、自らの立場を振り返る。大人の側にコミットしたいと思ってもらえるよう、学生スタッフの「守ること」「最低限のマナー」も真剣に考えなければならない。

数時間後、「スタッフとして大切にしたいこと7か条」が出来上がった。まだ出会っていない子ども達、地域の大人との関係性を整理することは、大変難しい作業だったが、みんな想像力を働かせて意欲的に取り組んだ。たくさんのカードが出てきたこと、短時間で「夢学校」のことを理解してくれたことに感心した。

▲学生スタッフが大人との関係性の整理や自らの目標をまとめる際に活用したワークシート。

パートナーに求める大人像

【1班の合意内容】

- やさしくて、笑顔の絶えない人
- 明るくて、元気な人
- 積極的に行動して、みんなのことを考えてくれる人
- しかる時にきちんとしかってくれる人
- ルールをきちんと守る人

【2班の合意内容】

- 相談にのってくれる優しい人
- 差別をせず、人間の内側を見てくれる人
- 面白くて子どもが好きな人
- お互いの気持ちの交流がはかれる人
- 何にでもチャレンジさせてくれる人



いまばり夢学校 2007 スタッフとして大切にしたいこと

一人はみんなのために、みんなは一人のために
～ one for all all for one ～

- ①けじめをつけよう
- ②協力しよう
- ③時間を守ろう
- ④みんなで仲良くして、楽しい時間を過ごそう
- ⑤自分の意見も相手の意見も尊重し、
みんなが納得できるまで話し合おう
- ⑥最後までやり通そう
- ⑦全ての人に感謝の気持ちを持とう



地域の大人が先生となり、地域の子も達が身近な生活課題や豊かなまちづくりについて学ぶ「いまばり夢学校」。大人と子どもが計画段階から主体的に参画することを願い、複数回開催される企画会議や研修会を重要視している。初回の会合で、居心地のいい空間を創ることがリスクマネジメントの第一歩だ。